

ひろば大代

NO. 203

大代公民館

「自慢のお父さん」

大代小5年 横 直人

ぼくのお父さんは石州セラミカの工場につとめています。だから昼間は仕事に出かけていません。

会社から帰って来てから夜にバレーをしに行ったり、いろいろ忙しい時もありました。だけど夜とときき遊んでくれます。ぼくのお父さんは夜にこしよぶってくるから、楽しいおとうさんです。

お父さんはこわれたものをだいたい直せたりします。ずっと前にぼくの自転車を買った時に、お父さんがタイヤを買ってなおしてくれました。だけど、またパンクしてその時は自転車屋さんを持って行って直してくれました。

ぼくはぼくのお父さんが一番だと思っています。

「ぼくのお父さん・お母さん」

大代小5年 岡田 正



うちのお父さんの仕事は左官です。いつもやさしくて、魚釣りに連れて行ってくれたり、ほしいものを買ってくれます。

でも時々「こわいなあ」と思うことがあります。そのわけは、ぼくが悪いことをしたり、けんかをするからです。うちのお母さんの仕事はかんごです。いつもはやさしいですが、おこるととてもこわいです。おこると声が大きくなります。使ったものの後かたづけがしていません。宿題をしていなかったりした時です。

ぼくはこんなお父さんとお母さんがとても大好きです。いつも仕事が大変だけどがんばってください。

またみんなといっしょにどこかへ遊びに連れて行ってください。楽しみにしています。

「就任にあたって」

大代婦人会々長 田辺幸子

この度、はからずも大代婦人会長という大役をお引き受けることになりました。(誠に光栄と申し上げるべきでしょうが、実のところ重荷に押しつぶされそう…というのが本音です。)五十年の伝統を誇る大代婦人会を、次の世代へ引き継ぐのが私の役目と及ばずながら微力を尽くす決心を致した次第です。

後藤前会長様は、名会長として九年もの久しいあいだ、全身全霊町のため婦人会のためお尽くしになりました功績は数え切れないほどです。

私には前会長のようなリーダーシップと行動力はありませんが、町民の皆様・会員の皆様のお力を借り、それぞれ役割分担して支えて頂き、よく話し合っって一緒に私達の通る道を見つけて行きたいと考えております。

高齢化の進む大代町ではありますが決して他の町に劣るものではないと自負しております。

若い方々、そして熟年者どうしが交

流を深め、助け合い自分の人生は自分で見取る（看る）心意気で明るく頑張ろうではありませんか。

一つの仕事を成しとげるためには、多少の無理が生じるでしょうが、皆様の温かい大きな気持ちで支えて下さい。何とぞ宜しくお願い致します。

「今年度の取り組みについて」

寿会々々長 泉 朋納

昨年七月、大代町の寿会は市老連より福祉サービスマス推進地区の指定を受けこの一年、手探りでこの事業に取り組んで来ました。現在大代町における高齢化率は四二％で、市内では一番高齢化の進んだ地区になっております。

寝たきり老人七名一人暮らしの老齢者六三名という状況であります。

この様な背景の中で私達高齢者にとって、福祉とはとかく受け身の立場になりがちであるが、これからはこの觀念を捨て会員が地域の一人暮らしの老人や寝たきり老人への声かけ、用事の手助け等、福祉活動の実践を通して高齢者自らが福祉の担い手として社会参

加を図り、誰もが何時かは必ず体験しなければならぬ高齢者の悩みを、最も身近な立場にある私達が考え、そして地域へ提言していく事が、愈々重要な時代となって来ました。

この事業は指定を受けたからとくに係わりなく寿会としては当然な事として進めなければならぬものと信じます。

人は凡て六十五才になれば如何に元気があっても高齢者の仲間入りした事に間違いはなく、又社会的にもその様に取り扱われるものです。どうか年齢に達せられた方は進んで寿会へ入会いただき、福祉サービスマス事業の中核として協力頂きます様お願い致します。

後十年すれば二名の内一人は高齢者であるという時代を迎えると言われております。さすれば、尚更この福祉サービスマスは等閑に出来ない事になります。

今後は社協民生等の機関と一層の連携を深め、協力を得ながらこの大代地区を福祉サービスマスの最も充実した豊かで幸せな地域となる様努力したいと考えますので会員各位の協力をお願い致します。

「本年度体協活動に向けて」

大代体協会長 大場清志

町民の皆様 今年度体育協会のお世話をさせて頂く事に成りました。宜しくお願い致します。

さて今年度の行事計画を紹介しますと、綱引き大会（七月）町民体育大会（九月）歩け歩け大会（十一月）元旦マラソン（一月）卓球大会（二月）を計画しています。この中でも一番町民の皆様に関心が深く、大勢参加して頂けるのが町民体育大会です。

年々高齢化の進む中、巾広い層の方が参加出来る競技等も考えて行かなければ成らないと思えます。皆様のご意見を多く取り入れ、満足して頂ける体育大会にしたいと考えています。

他の大会につきましても、年々参加者の減少する中、数多くの方々に参加して頂ける内容にと思えます。

また町内の方々に活動されている各種団体、同好会等の皆様にも予め登録して頂き、大会参加料・各種イベント企画料の助成を行い支援してまいりたい

いと考えます。以上考えの一端を紹介させて頂きました。

今年も町民の方々に気軽に参加して楽しんでもらえる内容に成る様、体育協会役員一同、各団体との連絡を取りながら皆様のご要望に答え頑張って行きたいと思えます。

町民の皆様のご指導・御鞭撻の程よろしくお願い致します。

「出会い」

本郷 増田長之助



戦時体験青春譜として立派な文集が出来上がり、私達の寄稿文に花を添えて頂きました。

ところで、先日久手の安藤和夫さんが突然尋ねて来られました。安藤さんは「戦後五十年過かなる戦場に想いをよせて」という冊子を自費出版して居られ、私とは所属部隊も兵科も異なり一面識もない方でしたので、「何のご用だろう?」と思っていました。

安藤さんの話によれば、今回大代から出版された文集で私の寄稿文を読み

「ミンダナオ島に渡る船も、又レイテ島から横須賀に帰る船も同じで、十二月の太平洋の寒風に吹き晒されながらも忘れる事が出来ない。PW生活にもいろいろ思い出があり、是非会って話したい気持ちで尋ねた。」とのことで五十年前の戦場を語り合いました。

又安藤さんは大代の文集に「ミンダナオ島慰霊の旅」を特別寄稿されて居られますが、慰霊の旅の写真をアルバムに収めて居られ、拝見させて頂きました。関係のあるカガヤンの街、死を覚悟したマンジマ溪谷陣地、このマンジマが一望出来る高台から撮られたパノラマ写真。

「増田さんが渡架後爆破された橋はこの辺の橋、上流で渡った箇所はこの辺だろう。」と話されますが、命令の下無我夢中で敵中に潜入したあの当時とは、隔世の感があり感慨深く見ました。安藤さんもこの陣地では多くの戦友を失われた痛恨の地であると語られました。最後にツビー市の立派な慰霊碑を見ました。かつては敵国であったこの地の住民や小・中・高生がこの碑の

清掃に当って居ると聞かされ、心温まる思いでした。

戦争を知らない世代が多くなった現今、戦争の悲惨さと遠い戦場で御国のため散華せられた尊い方々の死が犬死とならないためにも、しっかりと語り継いで行きたい。これが私達生還した者のつとめだと語られる行動力と情熱に敬意を表しました。

この度の文集を通して安藤さんや又「私が五才の時、父が戦死、顔も覚えていない。母もその後一人て年老いて行った。」と言われる御婦人など、新しい方々との出会いがありました。

「戦時体験青春譜を読んで」

横浜市 田中憲経



戦後五十年を節目に企画され「ひろば大代」に連載された「戦時体験記」が立派な本になり、この連休を利用して感慨深く読ませていただきました。私も当時小学校から中学校へあがった頃で戦中派の一員でしたので、懐か

しくというよりは重苦しい気持ちで読んだというのが実感です。

どんなに辛い経験でも数十年たてば懐かしい思い出に変わることも多いのですが、この戦争体験だけは悲惨という思いが年々募る場刈りです。私たちも苦しみました。世界にも日本の侵略により悲惨な体験をした人々がたくさん居ます。彼らにとっては過去のことでではなく、今も心の底にマグマのように悪魔として湧っており、日本の政治家の無責任な発言のたびにそのマグマが激しく吹き出していきます。

亡くなった作家の司馬遼太郎さんもよく書いていますが、日本の軍閥に牛耳られた昭和の暗い歴史はなんだったのか、なぜその跳梁を許したのか、私たちはこれからもこの問題を風化させることなく、自らの心に問い続ける必要があるのではないかと、お送りいただいた本を読んで改めて感じた次第です。

「大代小地鎮祭挙行！」

去る五月二十七日(月)午前八時五

十分より大代小学校庭に於て、工事安全祈願祭が挙行され、行政、業者他関係者三十数名が出席の下、藤田宮司さんの祝詞により、厳肅に執り行われた。尚地元より布野小学校長、西本PTA会長、永井建設委員長、高村連合自治会長、市原市議、松井シゲノの各氏が参加した。工事が事故無く、期日迄に完成することを願うものです。

* 六月の行事予定 *

- ◆ 1日(土) 福祉委員会
- ◆ 3日(月) 寿会草刈り奉仕
- ◆ 4日(火) 編集委員会
- ◆ 5日(水) 婦人会福祉部会
- ◆ 6日(木) JA集落委員会
- ◆ 6日(木) ダイヤゾンボール教室
- ◆ 8日(土) グランドゴルフ地区大会
- ◆ 9日(日) 関西高山会総会
- ◆ 10日(月) 大代小交通安全教室
午前十時〜公民館広場で
- ◆ 11日(火) 結核検診
- ◆ 13日(木) 花の講習会

講師 柿田義文先生

午後一時半から公民館にて皆さんお出かけください。

- ◆ 13日(木) 婦人会厚生部会
- ◆ 16日(日) 福祉弁当
- ◆ 20日(木) ダイヤゾンボール教室
- ◆ 22日(土) 連合自治会
- ◆ 23日(日) 大田市消防ポンプ操法大会

★——★ おしらせ ★——★

◎大代公民館より

先日寿会の方々に大代公民館の草刈り奉仕をして頂きました。公民館周辺や広場は大変きれいになりました。厚く御礼申し上げます。

◎社協大代支部より

上飯谷 田辺広枝様から
香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

